

かわせし市議の奮戦記

横浜市会は5月25日、一般質問が行われ、私は日本共産党を代表して4年間の累計で37地区に整備するとしています。しかし本市の運営責任は一切明記なしです。地域サポート事業は、これまでの10年間に市内で30地区が登録されましたが、本格運行は13地区のみで、残り17地区は本格運行中が3地区、本格運行の取りやめ2地区、実証運行に到達できず9地区等です。本格運行できない最大の要因は収入が少なく採算が取れないことです。4年間で37地区の本格運行には、横浜市への財政支援は不可欠であり、財政支援を求めました。

しやすしい地域交通を実現する」として4年間の累計で37地区に整備するとしています。しかし本市の運営責任は一切明記なしです。地域サポート事業は、これまでの10年間に市内で30地区が登録されましたが、本格運行は13地区のみで、残り17地区は本格運行中が3地区、本格運行の取りやめ2地区、実証運行に到達できず9地区等です。本格運行できない最大の要因は収入が少なく採算が取れないことです。4年間で37地区の本格運行には、横浜市への財政支援は不可欠であり、財政支援を求めました。

交通不便地域の解消を！

・・・“中期計画”を基に、市長に質問・・・



「コミバスを求めると多くの声」が、多く道幅も狭く交通不便地域の多い地域です。高齢化が進む中、移動支援が強く求められています。この間、かわせし民夫事務所が区民に実施したアンケートでは「コミバスを求めると多くの声です。続けてほしい」という声が多く聞かれました。また、区内で唯一運行の四季めぐり号「地域交通サポート事業」は、採算が取れず10月15日をもって終了です。利用者から「便数も少なく、続けてほしい」という声が多く聞かれました。また、区内で唯一運行の四季めぐり号「地域交通サポート事業」は、採算が取れず10月15日をもって終了です。利用者から「便数も少なく、続けてほしい」という声が多く聞かれました。また、区内で唯一運行の四季めぐり号「地域交通サポート事業」は、採算が取れず10月15日をもって終了です。利用者から「便数も少なく、続けてほしい」という声が多く聞かれました。

「本格運行には財政支援が不可欠」林市長は「地域交通サポート事業は地域主体の取り組みにより、利用を促し採算性を確保することで、路線の維持・充実を図っていくことが重要」として、地域・住民が頑張っても採算が取れない実態を無視した、無責任な答弁をしました。

民夫の“目だか”つうしん

僕は共産党が好きではないが、かわせしさん大好きだよ。との声。どうしてですかとの問いに、駅前での宣伝の後、ゴミを拾っていたのを見て、町会のお祭りでも一緒にやって裏方するじゃん。ほかの議員はあんないよ。との緊張感から来ました。



今、私は地元町内会のボランティアサークルや、青葉会 輝きクラブ 高齢者会 の会員として、夏祭り等の裏方をやったり、又、総会時の議長に依頼を受けたりします。以前は防犯部員として、火の用心夜回り隊 現在中断 にも積極的に参加しました。隊の皆さんとの繋がりが広がりました。地元活動へのきっかけは、再選を果たせなかった時のことです。応援してくれていた町内会長さんから、地元の活動をしながらダメダメ。何かできないの。夜回り手伝ってよ。と、誘われてからです。今後も繋がった人へ後援会ニュースや赤旗新聞を読んでもらい、共産党を好きになってもらえよう頑張ります。 新神奈川5月20号転載

交通不便から生活不便の解消へ 自由意見の分析・続

アンケート回答のまとめ その4

前回取り上げた地区に続き、回収率が高い町丁 下表の「下線部分」を含む5地区を選び、その自由意見から各地区の傾向を検討します。

現行路線の改善を求め 公共交通の不備を指摘

コミバスに対する期待の程度は、前回の5地区に比べると明らかに違いが見られます。強い希望を示す①では全体平均を上回る地区はF地区だけで、あれば便利とする②はOです。F地区では③ コミバス以外の方法」を求める意見が突出し、⑦も多く、いずれも既存路線を問題としているようです。

G・H地区は①・②ともに平均値以下で、⑧・⑦が多くなっています。コミバスの新設より既存のバス路線が気にかかるとのようです。H地区は四季めぐり号が運行中で、それにかかわって⑤ 運賃を安くする」など、具体的意見が多くなっています。①が平均より大きく下回り、②が多いのがI・J地区です。⑦ 現行路線の増便要求」が特に多いことも共通しています。町丁ごとに問題点がある変化しているのも特徴的です。

5地区の内コミバス運行中のH地区を除いて、④ 記入なし」の多いことが目立ちます。足の不便を感じながら、コミバスのイメージが明確でないため、意見を表明できないのか、コミバス以外の問題があるのか、それは何かを改めて考えたいと思います。

多様な生活改善の課題 「コミバスのイメージ不明

③ コミバス以外の方法」も地区によってバラツキの多い項目です。この項で高率を示しているのはF地区で、G地区がこれに続きます。F地区の場合、現路線バスの便数不足や敬老パスの利用範囲などが問題とされ、現在の公共交通にあるさまざまな不備を前提として意見が提起されています。

G地区はこれとはやや異なり、コミバスのイメージが明確ではないところからくる疑問が先行しているようです。H地区は現行コミバスの存続を願う意向が強く現れ、この項はOです。I・J地区は平均を下回ります。コミバス問題を契機として現状をどう

見るか、検討したい課題です。 買い物・通院・地域内交流 日常生活支援の公共交通を

多数寄せられた自由意見を整理するため、各意見を8項目に分類して検討しました。しかしこれまでの経過で明らかのように、回答者の生活から読み出た総合的な意見は1項目では括れません。改めてその特徴をまとめると、

- ① 荷物を抱えて坂道を登る苦労からの解放、外出を控える生活・引きこもりを避ける努力、子育て中に安心してバス利用ができる環境づくり
- ② 全て鉄道駅に向かい都心に集中する路線の見直し、地域内交流を大切にし、日常生活に配慮する路線網の増便、敬老パスの積極的利用

地域問題を検討・市政を考える

さらに「自由意見」に込めるため、コミュニティバスなど地域の公共交通の仕組みを検討する問題があります。コミバスに限らず、身の回りの問題をみんなで語り合い、市政が地域社会の発展をどのように考えているか、その責任についても明らかにしたいものです。

地区区分	全体割合 (%)	F川井南地区 上川井町 下川井町 矢指町	G今宿北地区 今宿東町 今宿西町 今宿南町	H四季めぐり 地区 今川町 四季美台 本村町	I川井北地区 都岡町 川井南町 川井本町	J白根北地区 中白根3 1・2・4 上白根1~3 上白根町・白根町
① コミバス運行を希望	32	35	25	23	19	7
② あれば便利・利用	13	0	8	3	27	17
③ コミバス以外の方法	13	23	19	0	8	10
④ 記入なし	13	15	19	6	19	23
⑤ 運賃は安く	6	4	2	35	0	7
⑥ 将来は必要	2	4	4	3	4	7
⑦ 現行増便・時間延長	13	19	13	29	23	27
⑧ 路線バス新設・延伸	7	0	10	0	0	3